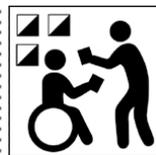


トレイルO NOW!



IOF
トレイルO委員会
こやま たらう

■この夏、いよいよテンポ (TempO) 競技が世界選手権の正式種目デビュー!

今年の WTOC (世界トレイルO選手権大会) は、IOF の夏のプログラムのひとつとしてフットOのWOCとともに、中部フィンランドの、ボウカッティ (VOUKATTI) において7月8日~12日の五日間の激戦がくりひろげられる。

最も注目される今年の「目玉」は、なんとといってもテンポ (TempO) 競技の初代世界チャンピオンが出現することであろう。主催国のメンツを賭けたフィンランド、そうはさせじと競うスウェーデン、ノルウェー、デンマークの北欧トレイルO王国たち……。慣れた地形、数ある競技会で経験豊富な彼らに対して、果たしてわが日本勢はじめてとする他の国々がどこまで肉薄できるか、その結果が楽しみである。

■テンポ競技は、一か所で三つ以上のタイム・コントロール課題から構成されたステーションを数か所回り、正解の点数ではなく、総合所要タイムの少ない競技者が勝者となる競技。

テンポについての詳しい解説は、本誌2008年2月号、6月号他を参考されたい。または筆者へどうぞ。

taro-ktrailo@xb3.so-net.ne.jp

■この夏、IOF トレイルO競技規則が おおきく変わった。

このテンポ (TempO) 競技の正式導入に伴い、IOF のトレイルO競技規則も大幅に改定された。

予選・決勝方式の導入

テンポ (TempO) 競技では、予選・決勝方式がとられ、予選に出場した競技者中36名が決勝戦に出場できる。競技者の人数により、一次予選、二次予選がある。

今までのコース距離による区分 (ロング、ミドル、ショート) が廃止された。

従来の形態の競技を「PreO (プリオ

一)」と呼ぶこととなった。

(PreO = Precise Orienteering = 精密な (正確な) オリエンテーリングの意味)

したがって、WTOC での競技構成は

PreO ……

オープン・クラス

障害の有無にかかわらず参加できる。

パラリンピック・クラス

IOF により「障害あり」と認められた者のみが参加できる。

TempO ……

オープン・クラスのみで、パラリンピック・クラスはない。

■この夏、WTOC2013 の世界が注目する日本代表選手たち

監督・TempO 選手権選手

吉村年史

PreO オープン・クラス選手

木村治雄・鈴木規弘・山口拓也
(うち2名がTempO選手権へ)

PreO パラリンピック・クラス選手

高橋義人・高柳宣幸・森 長三

チーム・マネジャー

小山太朗 (チーフ)・小泉辰喜

みなさんの 応援をお願い しま〜す!

(こやま たらう)